



ぼくたちの歩み!!

A兄弟のプロフィール		
	兄	弟
年齢	44歳	41歳
好きなこと	DVD鑑賞、音楽を聴くこと	買い物
やりたいこと	料理	料理、遠方へ外出

別々のグループホームで自立に向けて生活されていたA兄弟は、二人暮らしを長年希望されていました。平成27年12月から、グループホームはばたきのユニットとしてアパートの1室を借りての二人暮らしを始めました。今回は、A兄弟の生活の様子と今後の支援のあり方についてご紹介します。

A兄弟の 二人暮らしへの思い

二人暮らしに取り組み以前の話として、もともと弟の方は一人暮らしを希望されていました。しかし、グループホームで生活していく中で、相談したいときに話し相手がいないと不安になるため、兄と一緒にならトラブルがあつたときでも協力し合えるので安心だと、徐々に気持ちも変化していききました。そして、兄にも、今後の目標や希望について話を伺っていくと、弟と一緒に暮らしたいという希望があることがわかりました。

しかし、A兄弟は不安なことがあると感情のコントロールができなくなることであり、気持ちを落ち着かせようと外へ出て気晴らしをしたり、世話人や職員に話を聞いてもらったりすることで不安な気持ちの整理

をしてきました。

ただ、二人が生活していたグループホームでは、休日や時間帯によっては世話人が不在の場合があり、タイムリーに話を聞くことができないときがありました。

二人暮らしまでの歩み

そこで、不安な気持ちを軽減する方法として、携帯電話を取り入れ、二人が話したいときにすぐ担当職員へ連絡が取れるという体制を整えました。

二人は電話やメールを使ってすぐに職員と連絡が取れるようになったという安心感から、徐々に不安な気持ちもなくなり、それまで時折あったトラブルも減っていききました。

情緒面が安定したことで、休まず仕事へ行けるようになり、このころから二人暮

らしに向けて、家事なども今まで以上に積極的に行うようになりました。

二人暮らしを始めて

平成27年12月、いよいよ二人暮らしが始まりました。二人からは静かな環境で過ごせることと、休日には自

転車に乗って出かけたり、部屋でテレビやゲームをしたりと好きな過ごし方を選択できるから楽しいと満足されている声が聞かれました。また、他の利用者の方と一緒に外食されたり、泊で温泉に行かれたりと楽しまれ



温泉でカラオケ(弟)



兄弟でTVを見て過ごす

ています。

その一方で、新たな課題も見えてきました。二人が自由に生活できるようになったことで、生活音や夜間の声が大きいと近隣住民の方から指摘を受けることがありました。二人にはアパートで生活する上でのマナーを伝えながら、これからも地域住



自転車外出(兄)

民として生活できるよう支援しています。

利用者の方が望む生活のために…

今後も兄弟や家族などでの生活、または一人暮らしを希望される利用者の方も増えてくることを考えられます。

利用者の方の希望する生活スタイルを尊重し、それが叶えられるようにしていくことがますます求められてくると思います。

職員が利用者の方の生活を決めるのではなく、本人が希望する暮らしを実現できるようにするにはどのような支



家事をしている様子(兄)

援が必要なのかを考えながら支援をしていくことが大切だと思っています。

地域生活を続けていく上で、これから先も経験したことがないようなさまざまな課題が出てくると思いますが、くじけることなく課題解決のために私たち支援員は今後も二人を支えていきたいと思っています。

生活支援員

主任 木下 晋一

